

大阪観光大学 観光学研究所 主催シンポジウム (参加費無料)
「関西国際空港と観光産業・ひと・まち」

—訪日外国人観光客4000万人時代の空港関連産業を中心とした暮らしを考える—

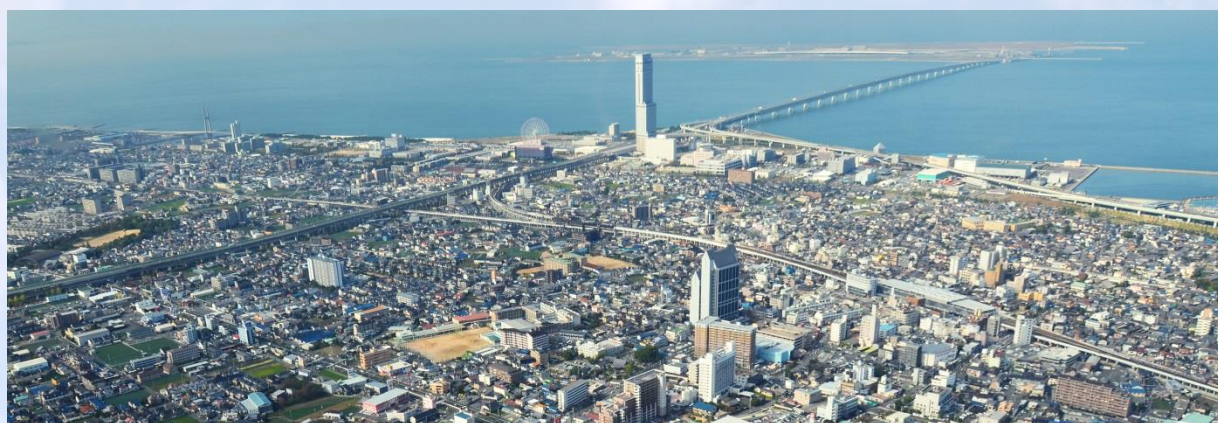
日時

平成30年2月2日(金) 14:00~16:30

場所

大阪観光大学明浄5号館2階大講義室

関西国際空港は開港から23年が経過し、日本の西の玄関口として、その機能について、ますますの発展が期待されています。また、訪日外国人観光客は年間2600万人を超え(2017年11月末)観光産業を支える労働力の確保や人材育成などについても課題が生まれています。24時間稼働する空港関連産業を中心とした観光産業を支える人々のワーク・ライフ・バランス、次世代育成についても、考えていかねばなりません。空港や観光産業とともに歩む街づくりのための視点や課題について、産・官・学・地域が連携していけるように、雇用や求職者の現状など様々な立場から情報共有ならびに意見交換を行います。



画像提供: 泉佐野市

(開場 13:30)

基調講演1 : 「関西国際空港の現況」

(14:00 - 14:30) 機谷 俊夫氏 (関西エアポート株式会社 専務執行役員)

基調講演2 : 「空港とともに歩むまち 泉佐野市」

(14:30 - 15:00) 八島 弘之氏 (泉佐野市 副市長)

パネルディスカッション:「関西国際空港と観光産業・ひと・まち」

(15:10 - 16:10) パネラー

機谷 俊夫氏 (関西エアポート株式会社 専務執行役員)

八島 弘之氏 (泉佐野市 副市長)

片岡 康弘氏 (スイスポーティングジャパン株式会社代表取締役社長/CEO)

山村 寿美氏 (ハローワーク泉佐野 次長)

質疑応答

(16:10 - 16:30)

ファシリテーター : 稲本 恵子 (大阪観光大学 観光学部 准教授)

お問い合わせ : 大阪観光大学 観光学研究所 事務局 072-453-8222 ☒kouza@tourism.ac.jp

主催:大阪観光大学観光学研究所

共催:大阪府